

こまざわ 経済 通信

発行
駒澤大学経済学部
同窓会
〒154-8525
東京都世田谷区駒沢
1-23-1

卒業おめでとう！

ご卒業おめでとうございます。

学窓を離れ、一己の人間として新たな航海への船出、心からお祝い申し上げます。

私ども同窓会は新会員となられる皆さんを歓迎し、期待もしております。是非、会員同士のつながりを豊かにしていただくとともに大学や後輩を支援してまいりましょう。

皆さんの学生生活は、コロナ禍で想定外の日々だったと思います。教員や学友と直接会えない中、孤立せず如何にコミュニケーションを取るか、如何に学びを深めるか、知恵を出されたことでしょう。

一方で孤独な時間を見つけ得た方は自己を見つめる時間になったと思います。私たちはコロナ禍で孤立と孤独の違いに改めて気づいたと言えます。己を顧みる時間は人の成長に不可欠です。詩人茨木のり子の有名な詩「倚りかからず」で「じぶんの耳目、じぶんの二本足のみで立っていて、なに不都合なことやある。倚りかかるとすれば、それは、椅子の背もたれだけ」と詠った精神と同根です。

現在、世界は厳しい現実に直面し、私たちの日々の生活に様々な影響が生じています。平和で持続可能な社会を築いていくために、皆さんのが得た学びや知恵、力を活かしていただきたいと思います。

ところで、お正月の箱根駅伝は母校愛が深まる時です。今年は総合優勝を果たし、喜びも深まりました。加えて、学生三大駅伝三冠達成は史上5校目の快挙でした。

このような現役の学生達による誉は、ひとつ駅伝だけではありません。様々な誉に至る道筋の中に同窓会の支援が陰陽必ずあります。経済学部同窓会では、経済学部ゼミナール連合会主催の学生シンポジウムを後援するなどし、学ぶ場への支援を行っています。

同窓会活動の原資は、会員皆の互恵の絆に他なりません。絆を深め合うことを願って同窓会からのお祝いの挨拶と致します。



経済学部同窓会会長
大場やすのぶ



研究室訪問シリーズ



吉村 純一
(教授、マーケティング
担当、2020 年着任)

駒澤大学経済学部同窓会の皆様、2020年4月に経済学部商学科に着任しました吉村純一です。お見知りおきのほどよろしくお願ひいたします。オリンピックの年に着任という予定でしたが、オリンピックは1年延期となりその代わりにコロナ禍という異なる意味で強く印象に残る年に経済学部の一員となりました。専門はマーケティング論、出身は福岡県です。

着任後すでに3年が経過しようとしています。この間、2年生から4年生までのゼミマーケティングの講義に加えて、年によって流通論基礎や新入生セミナーを担当しています。着任当初はコロナ禍のために対面で学生と会うことができず、なかなか感触をつかめずに苦しみました。ようやく2021年の5月からゼミが対面となり、そして2022年大教室で行われるマーケティングの講義も対面で実施できるようになりました。実は着任後2年間、ゼミを除けば教壇に立てない時間が続き、オンラインの授業だけで過ごすことになってしまいました。もっとも、オ

ンラインで私の顔を見知っている学生が次第に学内で話しかけてくれるようになり、ずいぶん勇気づけられたのでした。

私の専門は、マーケティング論ですが、とくに消費者とマーケティングの相互関係の分析に軸を定めて研究を行なってまいりました。現在取り組んでいる研究テーマが2つあります。1つが消費文化理論を用いた現代マーケティングの分析です。情報化、ジェンダー、環境問題、格差社会の進展などによってもたらされる人々のライフスタイルの変化とブランド戦略などについて、多角的に分析を行っています。現在9名の研究者と一緒に共同研究を行い、2023年度中に研究成果の出版を目指して準備をしています。

もう一つの研究テーマは、キャッシュレス決済がマーケティング・プロセスに与える影響についての研究です。近年急速に普及しているキャッシュレス決済が有する社会経済的な意味や、生産者から小売業者に至るマーケティング・プロセスに与える影響について分析しています。この研究成果の一部は、駒澤大学『経済学論集』第54巻第3号(2023年2月)に掲載されておりますのでご覧いただけますと幸いです。今後は、事業者や消費者に直接話を伺って、その受容プロセスについてさらに分析してみたいと考えています。

伝統がある駒澤大学で教えることができること自体大変光栄なことだと考えていますが、それに加えて大学に隣接する渋谷は現代ビジネスの拠点ともいえるエリアであり、キャンパスも現代の消費生活を象徴するような人々のライフスタイルを肌で感じができる世田谷に立地している点も、私の研究にとって大変ありがたい環境です。この恵まれた環境でさらに研究と教育に邁進する所存です。今後ともお付き合いのほどよろしくお願ひ申し上げます。



卒業式でゼミ1期生と一緒に



4年生全員が就職を決めたお祝いに

第7回学生シンポジウムのご報告

『第7回学生シンポジウムを開催して』

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。同窓会の皆様のご後援のもと、2022年11月12日(土)に第7回学生シンポジウムが対面形式で開催されました。経済学部ゼミナール連合の徳岡伶美さん(経済学科3年)が代表となり、副代表の岩田璃玖さん(経済学科3年)と共にゼミ連学生たちが、「学び、繋がる」をテーマに自ら企画し、運営を行いました。

これまで学部を横断したゼミの研究報告会として多くの方々にご参加いただいておりましたが、今年度は、経済学部17ゼミ、法学部2ゼミ、経営学部5ゼミに加えて、中央大学、津田塾大学、武蔵野大学、留学同東京の皆様にもご発表いただき、過去最多の合計28ゼミ、57チームとなりました。また大教場においてポスターセッションを準備し、各分科会で閲覧した上で感想を共有する時間を設けました。

分科会のテーマも、幅広い知的交流および自己研鑽の場に相応しく、「ダイバーシティ、ジェンダー問題、アパレル産業、ヒト・行動、貧困と教育、消費・資源問題、雇用と社会問題、経営管理、働き方と諸問題、観光とマーケティング、国際政治とエネルギー、DX、各国の政治形態、選考と戦略、金融・格差、気候変動・環境問題」と多岐にわたりました。

私が参加した分科会では、各チームの事前準備がしっかりしていた事もありますが、やはり発表者と聴衆が同じ空間で緊張感を共有し、相手の反応を肌で感じながら議論できていたのでオンラインのみの場合よりも白熱していたように思います。特に正規時間終了後の「ロスタイル」に情報交換する姿が印象的でした。実際に学生によるアンケート結果にもそうした意見がみられました。オンラインによる効率性や感染対策としての利点と、対面での臨場感やドラマの双方が重要であることを再確認しました。

スケジュール・情報管理の難しさ、丁寧なアフターフォローなど課題はありますが、来年度以降もゼミナール連合の学生には、勇気を持って新たな試みを続けてほしいです。同窓会の皆様におかれましては、引き続き温かいご支援の程を何卒宜しくお願ひ申し上げます。

(中山達也・経済学部准教授)



令和5年の経済学部の人事について

令和5年3月に2名の教員が定年退職を迎えられます。一方、新年度には1名の教員が着任します。若手教員や女性教員の割合が高まってきています。

【定年退職】(令和5年3月)

鄭 章淵 教授 (アジア経済論) 溝手 芳計 教授 (農業政策)

【新 任】(令和5年4月~)

新井 大輔 教授 (銀行システム論・現代銀行事情)

【新・学部長】(令和5年4月~)

番場 博之 教授 (流通論)

【新・大学院経済学研究科委員長】(令和5年4月~)

代田 純 教授 (金融論)

【新・大学院商学研究科委員長】(令和5年4月~)

石川 祐二 教授 (管理会計論)

— 同窓会事務局からのお知らせ —

1. 同窓会組織の強化にご協力ください

同級生、ゼミやサークルの仲間、地域のお知り合いで「経済学部同窓会」に加入していない方がおられましたらご紹介ください。未加入の方に事務局から入会案内をお送りします。

2. 「こまざわ経済通信」の原稿募集

同窓会報の充実のため原稿を募集しています。積極的なご投稿をお願いいたします。

- ・論題:自由
- ・字数:800字以内
- ・送付先:駒澤大学経済学部同窓会事務局(下記)
- 原稿の採否は事務局にご一任ください。

3. 役員を募集しています

ボランティアで同窓会の仕事をしていただける方を募集しています。軽い仕事なのでご負担になることはありません。仲間と楽しみながら、同窓会と経済学部の発展ために貢献できます。有志の方は事務局までご連絡ください。

4. facebookの公開グループにご参加ください

経済学部同窓会の公開グループ(<https://www.facebook.com/groups/komakei.obog/>)が活性化しています。同窓生の情報発信や情報交換の場としてご活用ください。

5. 経済学部ホームページがリニューアルしました

経済学部と同窓会のホームページがリニューアルしました。ぜひアクセスしてみてください!

駒澤大学



<https://www.komazawa-u.ac.jp/>

経済学部



<https://www.komazawa-u.ac.jp/gakubu/economics/>

経済学部同窓会



<https://www.komazawa-u.ac.jp/gakubu/economics/alumni.html>

経済学部同窓会事務局（経済学部事務室）

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1 電話：03-3418-9343